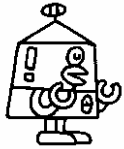


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
魚の卵の成長 / 理解シート

水中の小さな生き物の体内に見える、緑色のつぶは何なの



けんび鏡で見える緑色のつぶは、地上の緑色の葉などに入っている色素しきそと同じものが入っているのさ。

水中の小さな生き物は2種類に分けられる

池や小川、海などの水中には、トンボの幼虫ようちゅうのやごなどのこん虫、エビや貝、魚、水草、も、海そうなどさまざまな生き物がたくさんいます。このほか、けんび鏡などでやっと見えるようなプランクトンとよばれる小さな生き物も、たくさんいます。

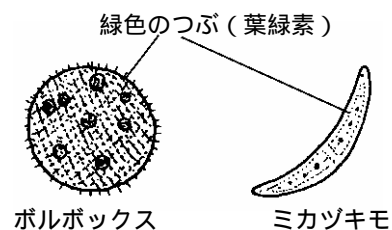
学校のプール開きの前に、プールのかべや底についたぬるぬるしたものをとってきて、水中ですすぎあらいし、その水をけんび鏡で観察してみましょう。池や川底にあった落ち葉をすすぎあらいした水でも、観察できます。

30倍以上にして見ると、よく動くミジンコや、ゾウリムシ、ワムシなどのグループのほかに、緑色をした動かない小さな生き物がいくつか見られます。よく動くのは、動物のなかまに入る動物性プランクトン、動かない緑色のグループは、植物のなかまの植物性プランクトンとよばれるものです。

植物性プランクトンは、地上の植物と同じはたらきをする

植物性プランクトンが緑色をしているのは、体内に緑色のつぶ(葉緑素とよばれる色素の集まり)があるからで、地上の植物の緑色の葉やくきにあるものと同じです。植物は、この葉緑素のはたらきで、日光と根からすい上げた水と空気中の二酸化炭素にさんかたんそから、デンプンなどの栄養分えいようぶんと酸素さんそをつくり出しています。

水中の生き物も、呼吸こきゅうするのに酸素が必要です。植物プランクトンは、酸素をつくり出すほか、えさとして動物性プランクトンや魚たちに役立っています。



ボルボックス

ミカヅキモ

植物性プランクトン